

日本ライプニッツ協会主催 春季シンポジウム 「『モナドロジー』300年」

2015年3月27日(金)12:00~18:00

於・学習院大学

中央教育研究棟 12階

国際会議場

セッション1. テクスト解釈の諸問題／司会:佐々木能章

*

稲岡大志「『モナドロジー』は放棄されるべき形而上学か？
—後期ライプニッツにおけるモナドと合成実体の問題」

*

松田 毅「モナドロジーを『動物の哲学』として読む」

*

セッション2. 哲学史における受容の問題／司会:伊豆蔵好美

*

犬竹正幸「ライプニッツを真に理解するとはどういうことか」

*

本郷朝香「ニーチェのモナドロジー受容」

*

セッション3. 現代におけるその諸可能性／司会:酒井 潔

*

茅野大樹「統覚と触覚—ベンヤミンのモナドロジー受容と知覚の変容」

*

森 尚也「ベケットの〈バロック的唯我論〉:「私はもう私とは言わないだろう」

*

懇親会／学習院大学内・桜ラウンジ

